

# きほく通信

第82号  
令和2年  
5月15日

難病  
患者家族会  
きほく

## 受給者証の有効期限を一年延長

令和2年4月30日

特定医療費受給者証の有効期間の1年間の延長が正式に発表されました

受給者証の有効期間の延長について、4月30日付で改正省令が交付され、正式に1年間の延長が決定しました。

対象となるのは、令和2年3月1日から令和3年2月28日までの間に支給認定の有効期間が満了する受給者で、令和2年3月1日の時点で効力を有していた受給者証の支給認定の有効期間に1年を加えた期間が新たな有効期間となることです。

受給者証については、現在受給者が使用しているものを引き続き使用して差し支えないとのこと、医療機関を受診した際に混乱を来すことのないよう、各都道府県等に対し、管内の医療機関へ十分な周知を行うようすでに県などに通知がなされています。

今後、受給者の皆様には、都道府県、指定都市、または管轄保健所等から、受給者証の扱いや自己負担上限管理票などについて具体的な通知がなされるものと思われれます。

また、受給者証の記載事項等に変更が生じた場合の手続においては、郵送により申請の受付や受給者証の返還を行うなど、新型コロナウイルス感染症に係る状況を踏まえた対応を行うよう配慮することとされていますので、変更申請等を行う場合は、保健所などでご確認ください。

## 神森会長入院手術

4月中旬、神森和子会長が長年患われている腹部の手術をするため入院し、無事手術が成功し退院されました。

入院に先立って神森会長から次のようなお手紙をいただきました。

(一部省略)

世の中は「障害」のある方には関心が有り、特典もあります。が、「難病患者」はいつも蚊帳の外に置かれている感じがしてなりません。

声を上げねばと思うばかりでとうとうその声を上げることもなく老いていくのが残念でなりません。

そう申ししても「胃切除」から40余年、私なりにがんばって参りましたが、胃の代役をしていた腸が異変を起こし、手術に踏み切りました。

ご迷惑をおかけすることはありますが、どうぞお許し下さい。

ご存じのように私を頼りに生きる二人の子どものためにも一日でも長く生きねばと思います。

ご迷惑をおかけすることもありますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

(添句)

今生の別れを集う兄妹(はらから)の  
年令(よわい)合わせて

四百十(しひやくとじゅう)余

※兄88歳姉89歳の祝いで10年前兄妹5人が和歌山へ集合したとき...



神森会長からのお手紙には本会患者家族会きほくの活動を案じるとともに、最後に三つの句が添えられていました。  
お手紙とその句を読みながら、心中大きな不安も抱えながらの入院手術だったのだろうと拝察いたしました。

会長は現在ご自宅にて療養されています。しっかりと静養されるようにお見舞い申し上げます。

なお、娘さんの敦子さんは大きな絵を描く気にもなれないと言った、可愛い花をあしらった手づくりの葉を届けて下さいました。

幼き日 父母と暮らした街の名を  
演歌の歌詞に 懐かしく聞く

※4歳から北海道軍港大湊で暮らしたことを思い...

早出する 息子を見送りて

外(と)に立てば

月蒼々(そうそう)と南(みんなみ)の空

※息子が早朝ゴルフ場に出勤する後ろ姿を見て...

会員皆さまの絵画、絵手紙、写真、俳句短歌、詩などの投稿を待っています。